

南房総広域水道企業団中期経営計画(平成23年～平成27年度)
平成24年度施策評価報告書

1. 目的

当企業団は、水道用水供給事業者として、夷隅・安房のライフラインを支え、将来にわたって安心・安全な水を安定的かつ廉価に供給していくため、計画期間中に実行すべき目標、施策を明確にし、計画的な事業運営を図ることを目的とした。

2. 実施期間 平成24年度(平成23年度～平成27年度)

3. 評価・取組結果

基本目標 安心・安全な水道用水の供給

適切な水質管理の継続

- ・総トリハロメタン濃度を管理目標値0.040 mg/L以下に管理。
- ・浄水、供給水すべてにおいてカビ臭を管理目標値(0.000005 mg/L以下)に管理。
- ・送水途中に設置した追加塩素設備の運用により、残留塩素濃度を低濃度(0.4～0.7 mg/L程度)に管理。

水質管理体制の充実

- ・逐次改正される水質基準等に対応した水質検査計画の策定、実施。
- ・水質検査機器の計画的な点検整備による水質検査体制の維持(水質基準50項目中の46項目は自己検査、4項目は委託で対応)。
- ・厚生労働省や千葉県が実施する外部精度管理事業への参加及び内部精度管理事業の実施による水質検査に係る技術水準の把握。
- ・水安全計画を策定するために必要な情報の整理。
- ・異常時対応マニュアルの作成を実施。

水源管理体制の充実

- ・水源である長柄ダムの水質検査・ダム周辺調査により、水質傾向・水質の汚染源等を把握。結果について独立行政法人水資源機構に情報提供し、情報の共有化を図った。
- ・水源関連団体が主催する水質勉強会等への積極的参加。
- ・水源を同じくする九十九里水道企業団との緊密な情報交換。

評価	・安心・安全な水道用水を供給するための「適切な水質管理の継続」、「水質管理体制の充実」、「水源管理体制の充実」に係る施策は、概ね達成している。
----	---

基本目標 安定的な水道用水の供給

電気・機械設備の点検整備計画による点検整備の実施

- ・点検整備計画による点検整備を実施し、設備の予防保全を図った。

管路の維持管理の実施

- ・点検整備計画に基づく点検整備、電気防食工事の実施。
- ・安房系送水管路で自然漏水があったが、応急的な対応を行った。
- ・房総導水路施設整備計画について、担当者会議等で検討を進めた結果、整備計画案について、利水者の合意を得たうえで、平成 26 年度事業着工を目指し進めていくこととなった。

水管橋の耐震化

- ・水管橋耐震補強年度計画に基づく耐震補強工事の実施。

危機管理対策の充実

- ・緊急時対応マニュアルの見直し、緊急連絡訓練の実施。
- ・漏水修理金具の整備。
- ・緊急用資器材の備蓄（仮配管材料）する方針を決定。
- ・他団体との「相互応援協定」及び民間業者との「緊急工事に関する協定」の更新。
- ・利根川上流ダム群等の湧水に備え、9月に南房総広域水道企業団水道用水供給湯水対策本部を設置し、関係団体と連携をとり、支障なく用水供給を行った。

評価	・安定的な水道用水を供給するため、浄水・送水等の施設の適正な維持管理、危機管理体制の充実強化に係る施策は、概ね達成している。
----	--

基本目標 水道運営基盤の強化

財政健全化の推進

- ・水資源機構割賦負担金の繰上償還・借換による支払利息の削減（期間削減効果：約 9,722 万円（借換利息含む））。
- ・国債、地方債の購入等の資金運用による収益（約 345 万円）。

組織、職員及び給与の管理

- ・職員採用試験を実施し、2名の新規採用を決定。
- ・業務量調査を実施し、合理的な組織づくりのためのヒアリング及び早急に対応すべき課題の検討。

施設の適正な更新

- ・沈澱池の内面調査を実施し、外面及び内面補修の計画を策定。
- ・水管橋塗装計画及び空気弁点検計画を策定中。
- ・アセットマネジメントにおいて、管路の布設延長、事業費の算出を行った。

水平統合の推進

- ・平準化のための長期財政収支見通しについて回答。
- ・南房総地域水道連絡協議会及び第 2 回において、進捗状況を構成団体へ説明。

技術基盤の確保

- ・職員研修計画に基づく研修受講による知見・技能の習得。

情報公開の推進

- ・水質、危機管理対策など、最新情報の提供。

施設見学の実施

- ・浄水実験を取り入れる等、わかりやすい説明に努めた。

評 価	<ul style="list-style-type: none">・組織・職員及び給与の管理、技術基盤の確保といった効果的な経営体制の構築に係る施策や計画的な施設の更新等について、概ね達成している。・水平統合の推進についても、現在県庁内で協議が進められている段階であり、少しずつ進展している。・財政健全化に係る施策も概ね達成しており、平成 24 年度末における累積欠損金は約 12 億円に減少する。
--------	--

基本目標 環境・エネルギー対策の強化

エネルギー消費の削減

- ・エネルギーの使用に係る原単位を抑制。

浄水汚泥の有効利用

- ・浄水汚泥を全量再資源化。

建設副産物の有効利用

- ・建設副産物の処分について、経済比較を行なった上で再資源化に努めた。

建設資材の再生資源利用

- ・建設資材の再生材の利用について、経済比較を行なった上で利用した。

評 価	<ul style="list-style-type: none">・水道用水供給事業による環境負荷を軽減するための「エネルギー消費原単位の削減」、「浄水汚泥の有効利用」、「建設副産物の有効利用」及び「建設資材の再生資源利用」に係る施策は、概ね達成している。
--------	---